

## 「結核菌の薬剤耐性状況に関する研究」についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、結核療法研究協議会に協力し、標記の研究を行なっております。

### 1 研究目的について

わが国における適切な結核治療戦略の検討に役立てるため、現在の薬剤耐性結核菌の動向を明らかにします。

### 2 研究の対象となる方

2013年1～12月に当院で結核菌培養が陽性であったすべての方をおよびその結核菌（培養された菌を含む）が対象です。

### 3 研究の内容について

以下の診療情報を匿名化して中央研究施設（結核予防会結核研究所）に送付します：性別、生年月日、担当保健所、診断、国籍、職業区分、X線所見、治療区分、合併症、菌検体の種類、塗抹菌量。これらはいずれも、結核登録者情報として感染症法に基づき保健所に報告している内容です。

また、多剤耐性結核菌と同定された菌株は、分析のため中央研究施設へ提供します。

### 4 施設研究責任者

芳賀 孝之（国立病院機構東埼玉病院 臨床検査科長）

### 5 研究期間

この研究が承認された日から2014年6月30日までを研究期間とします。

### 6 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究では、対象となる患者さま全体での集計のみを行ないます。研究成果は学術的な場および医療の向上に役立つ場でのみ公表いたしますが、その際に患者さまの個人が同定できる情報は一切公表いたしません。

この研究についてご質問があるときは、上記の研究責任者までお問い合わせください。